

# あそびのこ

### 特集 川崎医療短期大学の学外実習

- 放射線技術科 授章式
- 平成27年度 第3回公開講座報告
- 地域探訪くらしき&おかやま①
- 新任職員紹介 / かわさき夏の子ども体験教室
- 上海師生訪問団 / 川崎エコプロジェクト
- インフォメーション





## 特集 川崎医療短期大学の学外実習

本学では、各学科の専門性に合わせた、特色ある学外実習を行っています。

今回の特集では、各学科の学外実習の目標とスケジュールを解説するとともに、実習に取り組んだ学生のコメントを紹介します。また、これから実習に臨む学生に向けた指導教員のアドバイスを紹介します。



# 看護科

**【実習目標】** 学内で学んだ知識・技術を対象に合わせて実践できるように、1年から3年まで学習段階に応じた臨地実習を行います。川崎医科大学附属病院を中心とした3年間の臨地実習を通して、実践力のある、質の高い看護師の育成を目指します。

1  
年  
次  
生



**【基礎看護学実習Ⅰ】**

医療施設の見学や看護の見学・体験を通して、基礎看護学で学んだ看護の概念や目的、看護の役割や専門性が実際にどのように臨地の場で具体化され、機能しているのかを学びます。

2  
年  
次  
生

**【保育園実習】**

園児との関わりを通して、健康な乳幼児の成長発達とその保育の実際を学習します。また、子どもの特性を踏まえて、看護の視点から小児の安全・安楽に関わる基礎的な能力の習得を目指します。



**【基礎看護学実習Ⅱ】**

初めて患者を受け持ち、健康障害を持つ患者に必要な看護を考え、日常生活援助を実践します。2週間の臨地実習を通して、看護の基本となる知識・技術・態度の習得を目指します。



3  
年  
次  
生

**【領域別実習・統合実習】**

約6カ月にわたる臨地実習では、成人の慢性期・急性期、小児、母性、老年、精神、在宅の7領域において2週間あるいは4週間の実習を行います。それぞれの実習で、対象の発達段階や疾患の経過等の特徴に合わせて、必要な援助を計画的に実践する方法を学びます。

看護の統合と実践実習では、複数の患者を担当し、看護チームの一員として実務に即した看護実践を通して、看護をマネジメントできる基礎的な能力の習得を目指します。



4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月



看護科3年  
喜田 愛梨

**【印象に残った実習】**

私は、慢性期病棟の実習で気管切開をした方を受け持ちました。患者さんは発語が困難なためコミュニケーションに制限があり、信頼関係を築くことがなかなかできませんでした。そこで、指導者や教員から助言をいただき、筆談を用いたり文字盤を使用するなどコミュニケーションの方法を工夫し、患者さんの趣味が踊りであることを知りました。その後、患者さんと一緒に踊るなどして心の距離を縮めることができました。この体験を通して、改めてコミュニケーションの重要性を感じました。

**【先輩へのアドバイス】**

約半年間の臨地実習を乗り越えられたのは、グループメンバーのおかげです。患者さんとの関わりの中で困ったことやうれしかったことを共有することで、互いにアドバイスをし、励まし合い、支え合うことができました。辛く苦しいときも、共に頑張る仲間がいれば乗り越えられます。仲間を大切に、机上では学べないことを臨床現場でたくさん体験し、自分の力にしてください。



看護科3年  
銘苅 夢乃

**【実習で学んだこと】**

臨地実習では、成人や母性、小児などの領域ごとに受け持ち患者さんの看護計画を立て、看護を実践します。領域ごとに特徴があるため、それを踏まえて計画立案することは難しかったです。つい疾患に注目しがちですが、患者さんの性格や生活背景、想い、ご家族のことも視野に入れた個別的な看護を計画し、実践する必要性に気づくことができました。臨地実習で学んだ患者さん一人ひとりを看るという視点を大切に、今後も看護を実践していきたいです。

**【ここが大変！在宅看護論実習】**

在宅看護論実習では、訪問看護を利用されている利用者さん宅の訪問に同行します。実習当日、急に訪問先が決定・変更されることもあるため、短時間で情報収集をすることが大変でした。また、利用者さんの生活の場であり療養の場である「在宅」でしかできないケアを考えることがとても難しく苦労しました。さらに、介護保険や医療保険などの制度を理解することも不可欠で、講義でしっかり勉強し、覚えた上で実習に臨む必要があると感じました。



**実習指導の先生からのアドバイス**

臨地実習に出る前に学内で学んだ知識・技術は、言わば一般論でしかありません。看護の対象は「人」であり、年齢ひとつとっても、生まれたばかりの赤ちゃんから100歳を越える高齢者までと幅が広く、加えて個々の社会的背景や環境、病気の種類・程度・予後やその人の理解度・思考過程、ニーズなど様々な条件が異なります。したがって、目の前の対象者に合わせて、学んだ知識を整理し統合して、「その人」に必要な看護を考え実践していくのが、臨地実習の醍醐味でもあるのです。その過程を通して、命の大切さや人の尊厳、学生自身の倫理観、看護観などを育んでもらいたいと考えています。そして、実習が終わるころには学生たちの心の中には、愛と感謝の気持ちが大きく膨らんでいることを私たちは願っています。

(看護科 松本 明美)

## 臨床検査科

**【実習目標】** 実践的な実習を行い、卒業後直ちに第一線で戦力となることのできる技術・技能の習得を目指しています。

### 2年次生

2年生後期から3年生前期にかけて、川崎医科大学附属病院、川崎医科大学附属川崎病棟の中央検査部および病院病理部で、検体や機器の取り扱い、最新の医学や検査に関する知識・技術、患者さんへの接遇を学びます。社会人、医療人としての基本的な考え方、医療従事者としての態度、医療事故防止対策などの習得にも力を入れています。臨床実習は9科目(右表)に分かれ、各部門を少人数でローテーションしながら、実習を行います。

#### 実習部門

- ・病理検査学
- ・血液検査学
- ・一般検査学
- ・臨床化学
- ・免疫・輸血検査学
- ・臨床微生物学
- ・生理機能検査学
- ・検査総合管理学
- ・公衆衛生学



#### 【病理検査学実習】

手術などで摘出された臓器の病理組織標本を作成して、顕微鏡で観察します。

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

### 3年次生



#### 【血液検査学実習】

血球数の検査、顕微鏡による形態検査、凝固検査などを行います。



#### 【臨床化学実習】

主として、血清を用いて各種臓器の機能を調べ、病気の診断とその程度、治療効果などを判定します。



#### 【臨床微生物学実習】

検体(喀痰、尿、便、血液など)から菌を検出し、菌名の同定とどの薬が効くのかなどを調べます。



#### 【生理機能検査学実習】

患者さんに直接接触し、各器官(心臓や肝臓など)を画像化したり、動きを波形化して検査します。



臨床検査科3年  
西村 拓人

#### 【実習で学んだこと】

臨床実習では、学内実習とは違い、実習を「させていただく」立場となります。学内実習では先生の話をよく聞き、言われた通りに実習するという「受身の姿勢」が通用しましたが、臨床実習はそう甘くありません。準備から片付けまで学生のみで行わなければならない実習も少なくはなく、今まで以上に深い知識と理解が必要でした。

また、実際に仕事をしている臨床検査技師の方々にご指導いただくため、社会人として常識ある行動や対応が求められました。さらに患者さんと接することもあり、言葉遣いや所作にも気が抜けませんでした。辛いこともありました、それ以上にとてもやりがいがあり、自分の努力次第で一回りも二回りも成長できると思います。



臨床検査科3年  
藤原 永子

#### 【印象に残った実習】

1年間の実習の中で特に印象に残ったのは、免疫の実習で自分自身の遺伝子解析を行ってアルコールに対する感受性を調べたことです。初めての遺伝子解析であったことや、自分自身の検査をすることができたので、とても新鮮でした。遺伝子解析の方法などを学びつつ、自分たちのアルコールに対する強さを知ることができ、遺伝子検査を身近に感じることができました。

#### 【ここが大変!生理機能&採血センター実習】

生理機能検査学実習では心電図電極の装着、採血センターでは出血時間の検査を患者さんを対象に行うことがありました。失敗のないように、患者さんへの配慮を忘れないようにすることはとても大変でした。その中で患者さんから「ありがとう」と声を掛けていただいたことがとてもうれしく、今後の実習も頑張っていこうと意欲が湧きました。加えて、実際の検査の場の空気を感じることで将来自分たちが働く姿がイメージでき、良い経験になったと思います。



#### 実習指導の先生からのアドバイス

病院には、たくさんの患者さんが入院または受診されています。まず、患者さんを自分の家族のように思っ医療に貢献することが、医療に携わる者の生きる意義であり、喜びであることを学んでほしいと思います。また、病院には様々な職種の方が働いています。当院は職種間の垣根が低く互いに親切であるという素晴らしい文化が根付いています。学生の皆さんにもぜひ肌で感じてほしいと思います。そして、何事も現状に甘んじることなく一歩でも前進する姿勢を培ってほしいと思います。エネルギーを要することですが、人が成長するには大切な要素です。最後に、医療という厳しい現実の中でも楽しく生き生きと働く現場の人たちをしっかりと見てください。(川崎医科大学附属病院 中央検査部 河口 豊)

# 放射線技術科

**【実習目標】** 川崎医科大学附属病院を中心とする約9カ月という長期の充実したカリキュラムによって、徹底した実践的知識・技術の習得と、患者さん優先の精神を持った、心豊かな医療技術者の育成を目指しています。

2  
年  
次  
生



<川崎医科大学附属病院：CT部門>

**【履修目標】** 臨床の場を実際に体験し、これまでの講義で習得した知識の基礎固めを目指します。

**【実習施設】 川崎医科大学附属病院**

**【診療画像技術学臨床実習Ⅰ】**

→実習部門：撮影・透視部門、CT部門、MRI部門、血管造影部門

**【放射線治療技術学臨床実習Ⅰ】**

→実習部門：治療部門

**【核医学検査技術学臨床実習Ⅰ】**

→実習部門：核医学部門

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

3  
年  
次  
生

**【履修目標】** これまでに習得した臨床での基礎知識の応用として、再度同じ実習部門を周り、実践的技術の習得を目指します。

**【実習施設】 川崎医科大学附属病院、川崎医科大学附属川崎病院、岡山旭東病院**

**【診療画像技術学臨床実習Ⅱ】**

→実習部門：撮影・透視部門、CT部門、MRI部門、血管造影部門、超音波部門

**【放射線治療技術学臨床実習Ⅱ】**

→実習部門：治療部門

**【核医学検査技術学臨床実習Ⅱ】**

→実習部門：核医学部門



<岡山旭東病院：治療部門>



放射線技術科3年  
仲光 勇輝

**【実習で学んだこと】**

大学生生活も残すところ半年を切りました。2年生の前期までは座学で知識を習得する勉強が主でしたが、後期からの病院実習では医療現場の緊張感を肌で感じました。そこで働く先輩技師の方々の姿を見ることで、自分のふがいなさを痛感しました。そして、改めてこれから携わろうとしている医療や検査に対する責任感が増しました。さらに、自ら率先して行動することの必要性についても学びました。そのような経験をしたら、もっと現場で的確に判断できるための知識を得たいという気持ちが高まり、座学にも力が入るようになってともに、もっと経験を積みたいと実習への意欲が湧きました。

**【先輩へのアドバイス】**

病院での実習は、一日一日がとても貴重な時間でした。それと同時に、一日の実習が終わると、体力的にも精神的にもとても疲れていたというのが正直なところです。しかし、日々の実習日誌と実験レポートの提出期限は私を待ってくれません。とにかく毎日がハードスケジュールです。もし日誌やレポートをためてしまうと、定期試験の勉強にも影響してきます。ですから、先輩たちに一言、決して日誌とレポートはためないことです。「明日やろうはバカヤロー!」です。先輩の皆さん、頑張ってください。



放射線技術科3年  
山根 彩香

**【実習で学んだこと】**

私は、実習で特に患者さんとの接し方について学びました。実習が始まったばかりのころは、患者さんに検査の説明をする際、うまく伝わらなかつたり、聞き返されたりすることがありました。診療放射線技師の方から、「自分がうまく話すのではなく、相手が理解しているかを考えながら話すように」とご指導いただき、患者さんを第一に考えることができていなかったと気づきました。それからは、患者さんの様子を見ながら話すことを心掛けるようになり、スムーズに説明ができるようになりました。わかりやすい説明がより良い検査につながると実感しました。

**【先輩へのアドバイス】**

実習では、自分の一つひとつの行動に責任を持たなければなりません。患者さんにとって、実習生は病院の職員と変わりません。私たちの態度や言動が、病院の印象につながることを意識して実習を行ってください。また、検査の意義や画像所見などを考えながら行う人と、何も考えずに行う人とは大きな差がつかます。どのようにしたらより多くのことを学べるかを考え、実習を行ってください。実際に臨床の場を目にすることで、授業では学べないことを学び、知識と技能を確実に身につけて、約9カ月という長い実習をより有意義なものにしましょう。

## 実習指導の先生からのアドバイス

病院実習では主に三つのことを中心に学んでください。その1、学内で座学によって学んだ知識・理論を実践と結びつけることです。百聞は一見にしかず、目で見て理解し理論と結びつけることで、より理解が深まります。その2、チーム医療について学ぶことです。診療放射線技師の役割や使命を認識し、医療チームの一員として行動する先輩技師の姿に触れることで、チーム医療の大切さを実感してください。その3、接遇について学ぶことです。病院にはいろいろな患者さんがおられます。患者さんのことを第一に考え、TPOにあった接遇の実践を心掛けてください。また、この時期に社会人としての礼儀作法について学ぶことも大事な学習の一つです。以上のことを踏まえ、病院実習をより有用なものとしてください。

(川崎医科大学附属川崎病院 中央放射線部 田淵 昭彦)

## 医療介護福祉科

**【実習目標】** 介護福祉サービス利用者との人間的な関わりを深めながら、講義・演習で学んだ理論や知識を実際に活用し、総合的な介護を実践できる基礎能力を習得します。また、様々な角度から介護の必要性を分析・考察し「個別ケア」の実践方法について学びます。

### 1 年 次 生

#### 【介護実習Ⅰ】

入学して2カ月後、毎週火曜日と水曜日の5週間、5施設（障がい者支援施設、高齢者施設、グループホーム、通所介護など）の見学実習です。初めて出会う利用者の方どのようにコミュニケーションを図ったらよいのか、またどのような生活を送られているのか、高齢者や障がい者の生活の場を知る実習です。



#### 【介護実習Ⅱ】

基本的な介護技術を実践できることを目的に特別養護老人ホームや介護老人保健施設で3週間の集中実習を行います。利用者体験を実習中に行い、利用者が求めている願いや想いを理解する力や介護技術の力を養います。

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

### 2 年 次 生

#### 【介護実習Ⅲ】

全国でも非常に珍しい実習形態で実施する在宅実習です。週に1日10週間、利用者と一緒に過ごし、関わりながら、また、学内で自分を振り返りながら、必要な知識を得て次の実習日を迎えます。利用者のなじみの環境である在宅を訪問することで、「その人らしい生活とは何か」を学ぶことのできる実習です。



#### 【介護実習Ⅳ】

総合的な日常生活支援ができる実践能力を身につけ、専門職としての自覚を持ち、介護を遂行する能力を養うことのできる実習です。実習中には1人の受け持ち利用者の介護計画を立て実行します。利用者との心が通じ合った瞬間は、とても感動します。根柢のある介護技術を習得し、自分と向き合い、こころを成長させる貴重な経験のできる時間です。



医療介護福祉科1年  
鈴木 なつみ

#### 【実習で学んだこと】

介護実習Ⅰでは、コミュニケーションの大切さと難しさを痛感しました。実習中、利用者の方とのコミュニケーションが上手に図れず、利用者の方を困惑させてしまうことがありました。そのとき、職員の方から、その方独自のコミュニケーション方法があり、表情やしぐさからその方の想いを読み取ろうとすることや、その方の想いに寄り添おうと努力して接することが大事であると教えていただきました。実践してみると、私にもとても良い笑顔を見せてくださり、「あなたがあって、よかった」と本当にうれしい言葉をいただきました。この「触れ合い」から、傾聴や受容することの大切さ、利用者の方を理解しようとし続けることの大切さを学ぶことができました。

11月から介護実習Ⅱが始まりました。日常生活の介護支援を多くさせてもらうので、これまでの講義や演習で学んだ知識を基に、安心・安全・安楽な介護を心掛けていきたいと思っています。また、利用者の方の想いや求められていることを考え続け、実践していけるような実習にしていきたいと思っています。



医療介護福祉科2年  
栗田 未悠

#### 【実習で学んだこと】

これまでに四つの実習を経験しましたが、一言で表すと「大変」です。そう感じるのは、レポートの作成、技術の向上、高齢者とのコミュニケーションにつまずきがあったときです。しかし、その大変さを忘れられるときがあります。関わっている高齢者の方が私を覚えていてくれたり、私に興味を持ってくれたり、「ありがとう」「頑張ってるね」と言ってくれたときです。ミスをして落ち込んでいたり、技術がなかなか向上しないときにも元気をくださいます。大変なこともあります、やりがいを感じることもそのほうが多くあります。実習一つひとつが、心身共に成長する機会となり、終了時には実習前より成長できたと感じました。先生のフォローや学生同士の話し合いによって、ストレスも少なくてすみました。これからも、介護福祉士になるために何事にも積極的に取り組んでいきたいです。



#### 実習指導の先生からのアドバイス

「介護」と言えば対象は高齢者ばかりと思われるかもしれませんが、高齢者だけでなく、身体障がいのある人、知的障がいのある人、精神障がいのある人、難病の人など多岐にわたります。介護福祉士には、これらの方々の生活のしづらさに対し、その人なりの生き方を踏まえた個別的なケアをすることが求められています。実習では、一人ひとりの利用者との関わりを大切に、介護を必要とする方々のより良い生活の維持や向上のために思考し続けることで、アセスメント力を身につけてほしいと思います。また、常に自分の言動を振り返りながら、介護を受ける方々の立場に立って考え、誠実に対応できる人間性の成長を願っています。

(医療介護福祉科 三宅 美智子)

## 医療保育科

**【実習目標】** 学内で学んだ知識・技術を現場で総合的に実践できるように、現場実習を行います。また、医療機関などと連携した病院での実習や障害児保育実習などを通じて、他にはないスペシャルな保育士の育成を目指します。

2  
年  
次  
生

### 【保育実習】

(6月/9月/12月：各10日間 計30日間)

保育所や施設での実習を30日間行います。保育所実習では、学校内の学びを総合的に捉え、保育実践の現場で保育者から指導を受けながら、子どもたちとの関わりを学びます。施設実習では、福祉施設での実習を通して、施設養護に携わる保育士としての指導技術や知識を習得することを目的としています。



4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

3  
年  
次  
生

### 【幼稚園教育実習】

5月下旬から6月に幼稚園で4週間の実習をします。幼児との実際の生活を通し、幼稚園教諭として必要な知識、技能、態度を身につけます。医療保育科で最も長期の実習であり、実習生が中心となって保育する指導実習もたくさん経験します。

### 【小児病棟保育実習】

(病児保育コース)  
8月中旬から9月中旬に大学病院、こども病院等で10日間の実習をします。チーム医療の一員として、入院治療を必要とする子どもや家族に対してストレスや不安を軽減させ子どもの発達を促す遊びを通して関わっていきます。

### 【病児保育実習】 (病児保育コース)

10月中旬に県内の病児保育施設で2日間の実習をします。病気になって集団保育に参加できない子どもたちの疾病や病状に応じて、不安を取り除き安定した気持ちで生活ができるようにする保育看護を経験します。

### 【発達障害児保育実習】 (発達障害児保育コース)

10月に保育所、児童発達支援センター、特別支援学校で5週間の実習をします。発達障がいのある子どもとの生活に加え、特定の対象児1人に絞った行動観察、目標設定、活動の準備や支援ツールの作成、支援の実施までのプロセスを系統的に学びます。



医療保育科3年  
病児保育コース  
武田 美咲

### 【印象に残った実習】

印象に残ったのは幼稚園での教育実習です。元気と笑顔がいっぱいの子どもたちと楽しい毎日を過ごすことができました。実習前半では信頼関係が築けず、なかなか挨拶をしてくれなかった子どもが、毎日笑顔で接していると、中盤にはその子のほうから挨拶してくれたり、話しかけてくれるようになり、とてもうれしかったです。園の先生方の保育を間近で見ることができ、また、丁寧にご指導くださったおかげで、保育者にとって大切なことをたくさん学ぶことができました。

### 【ここが大変! 保育実習・教育実習】

実習で大変だったことは、日誌と指導案の作成です。日々の実習が終わってから両方を書く日もあり、時間がなくて大変でした。しかし、日誌の記入を通して毎日を振り返ると、先生方の保育の意味やポイントをよく理解できました。また、指導案で計画を立てておくことで、きちんとねらいを持って関わることができました。子どもの姿を予想しておく余裕を持って保育ができます。どちらも大変ですが、保育を行う上でとても大切なことだと思います。



医療保育科3年  
発達障害児保育コース  
片山 美穂

### 【印象に残った実習】

印象に残った実習は発達障害児保育実習です。1カ月にわたる1日5時間の実習のため、長いと感じていました。しかし、週3回なので、日誌の記入や準備の時間は十分に確保できました。2人ペアで行うため、1人の負担も大きくはありませんでした。現場の先生方に加え、本学の先生方も現場での指導に加わっていただきました。障害のある子どもとの関わりは、保育士を目指す学生にとって大きな糧になると感じました。

### 【実習で学んだこと】

実習で学んだことが二つあります。一つは環境の影響の大きさです。周りに刺激が多いと、子どもは活動に集中しにくくなります。それに対して、子どもを励ますだけでなく、カーテンや衝立で刺激を減らすなど環境を整えると子どもは落ち着いて過ごせるようになりました。もう一つは分かりやすく伝えることです。言葉だけでは活動を理解できなくても、実際に行ってみせたり、絵を描いてみたりして伝えると活動に参加できる子どもが少なくありませんでした。後輩にも実習から多くのことを学び、子どもとの関わりに生かしてもらえたらと思います。

### 実習指導の先生からのアドバイス

実習先で出会う子どもたちの保育や障がいのある人たちの支援を行う実習では、予想しない行動や発言に遭遇することがあります。現場では相手のことを考えながら実習計画を立てるだけでなく、臨機応変な対応が求められます。学生の皆さんは、学習で身につけた知識を基にして計画を立て、日々直面する様々な状況と向き合いながら多くのことを経験してください。その中から、あらゆる子どもたちのための保育を実践する力を身につけてもらいたいと思います。現場で出会う子どもたちとの経験を大切にしてください。

(医療保育科 重松 孝治)

## 放射線技術科 授章式

授章式は、本学科1期生から続いている伝統の儀式で、病院での臨床実習の許可の証としてワッペンが授与されます。本年度は、9月26日(土)に第38回授章式が本学200号大講義室で行われました。



■まず始めに、小池 将文学長が「病院実習を通して貴重な体験ができることに感謝して取り組んでほしい。“聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥”ということわざがあるが、理解できないことがあれば、有耶無耶にしないで質問をすること。人の悪口や噂話をせず、個人情報の流出に十分注意すること。また、チーム医療の中で診療放射線技師の役割を学び、健康に気をつけて、実りのある実習になることを希望する」と説きました。



◆学長式辞

■続いて、荒尾 信一学科副主任が「初心を忘れず、自分のできることをしっかりとやり、9カ月間の臨床実習を有意義に過ごしてほしい。そして、病院実習を通して様々なことを学び経験して、一回り大きくなって戻ってくることを願っている。また、状況に応じて、いろいろなことに気がつくことができる魅力的な人になってほしい」と述べ、2年次生57人一人ひとりにワッペンを授与しました。



◆ワッペンの授与

■さらに、第32期卒業生(平成23年度卒)で福山市民病院に勤務されている門田 侑子さんから「激励の言葉」として、「①皆さんの言動が病院の評価につながることを忘

れないでほしい。②患者に不安を与えないように心掛けてほしい。③しっかりと勉強してから実習に臨んでほしい。④メモを取る習慣を身につけてほしい。⑤実習を通して自分の目標とする技師像を考えてほしい。⑥就職してからも勉強を続けてほしい。」というアドバイスがありました。最後に、授章生を代表して田中 翔太君が決意表明を読み上げ、厳粛な授章式が終了しました。



◆代表学生宣誓

■授章式に引き続き、記念講演として、日本救急撮影技師認定機構代表理事の坂下 恵治先生(りんくう総合医療センター勤務)による「救急医療における撮影技術とJERTの取り組み」、および日本診療放射線技師養成課程心肺蘇生法普及委員会代表の蘆原 友里先生(倉敷成人病センター勤務)による「診療放射線技師に求められる心肺蘇生法—医療現場での対応—」と題した講演が行われました。これらの講演を通して、救急医療の歴史、救急撮影の特徴と専門的知識の必要性、心肺蘇生法の実践的知識の重要性を学生・教員一同学ぶことができました。

(放射線技術科 成廣 直正)



◆講演者と卒業生

右：坂下 恵治先生  
中：蘆原 友里先生  
左：門田 侑子さん

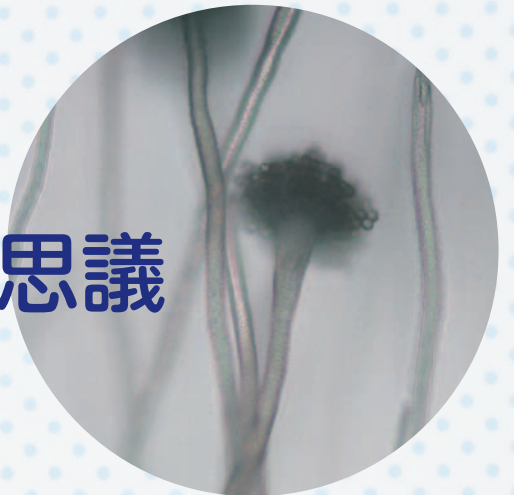


平成27年度

## 第3回 公開講座報告

身の回りにいる  
目にみえない**微生物**の不思議臨床検査科 准教授  
黒川 幸徳

平成27年10月10日に第3回 公開講座（主幹：臨床検査科）を開催しました。私たちの身の回りには目には見えないたくさんの微生物が生息しています。講演では、生活に有用な微生物から健康に有害な微生物まで、様々な微生物の私たちの生活への関わりを説明することを目的としました。



## 臨床検査と微生物

現在の医療において、血液検査や心電図検査などの臨床検査は、なくてはならないものとなっています。その臨床検査の一つに微生物検査があります。微生物検査とは、感染症患者の検体から起炎微生物を検出し、種々の抗生物質に対する微生物の感受性を検査し、治療に有効な薬剤を選出するものです。近年の感染症として話題となっているものの一つに、アフリカで流行しているエボラ出血熱があります。この感染症の原因微生物はウイルスですが、同様にウイルス感染症の一つであるMERSが今年になって韓国で流行し、我が国にも入ってくるのではと懸念されたことは記憶に新しいと思います。よく知られている微生物感染症には、食中毒などの消化管感染症があります。大腸菌O157による食中毒などは時々ニュースなどに取り上げられています。微生物検査は、インフルエンザウイルス検査のように15分程度の短時間で結果がわかる場合もありますが、培養という操作過程が必要な場合には検査に3日間程度の時間が掛かる場合もあります。

## 身の回りの有益な微生物たち

私たちの身の回りには、味噌、醤油、酒、納豆、ヨーグルトなど、微生物の恩恵にあずかっている食品が多数存在します。それらの有益微生物のうちの代表格は、麹菌 *Aspergillus oryzae* であると思います。*A. oryzae* は高いでんぷん分解能をもち、清酒、味噌、醤油など幅広い食品の製造に利用されています。欧米における真菌学の発展により *Aspergillus* のある種のあるものは毒素を産生することが知られ、*A. oryzae* の形態がそれら毒素産生菌と酷似している

ため、*A. oryzae* に毒素産生疑惑が一時起きたこともあります。しかし、遺伝子学的に毒素産生遺伝子を保有していないことが証明され、現在は毒素産生の疑義は晴れており、日本醸造学会において日本の国菌と認定されています。

## ノーベル賞

大村 智氏が今年、ノーベル医学・生理学賞を受賞されました。主な受賞理由は、土壌中から新種の放線菌 *Streptomyces avermectinius* を発見し、本菌が産生する化合物の構造を一部変換してイベルメクチンという化合物を開発され、医療に大きく貢献されたことです。この物質は人間に失明を起こすオンコセルカ症に有効であり、世界で年間3億人を失明の恐怖から救っています。

## 終わりに

身の回りには多種多様な微生物が存在しています。自然界との共生が大切と考えます。



# ぐらしき & おかやま

by 写真部

## vol. 11 津山

私たちは、10月3日に津山城に取材に行きました。

津山城は、美作<sup>みまさか</sup>一国 18万 6,500石を領して入封した初代津山藩主・森 忠政が、鶴山<sup>つるやま</sup>に築いた平山城<sup>ひらやまじょう</sup>です。忠政は、慶長8年(1603)の入封当初、美作国<sup>いみのしゅう</sup>院庄に入りますが、領国支配の拠点としての適地を探し求めた結果、美作中央部<sup>みまさか</sup>にあって古くから開けていた津山盆地<sup>つるやま</sup>のほぼ中心に位置する鶴山の地を選びました。



津山城



城内を散策しているとき、石垣にハートの形の石を見つけました。



津山城の天守閣の跡から撮影した津山市内の風景です。山と川に囲まれた緑豊かな気持ちのよい場所でした。



津山衆楽園

津山衆楽園<sup>しゅうらくえん</sup>にも行ってきました。津山衆楽園は岡山後楽園<sup>ごらくえん</sup>よりも50年ほど古い歴史を持っており、小堀遠州流<sup>こぼりえんしゅうりゅう</sup>の作庭師によって作られた庭には、池に大小四つの島が浮かび、春は桜、夏はスイレン、秋は紅葉、冬は雪景色と四季折々の美しさを見せてくれます。



津山は岡山から1時間ほどで行けます。今回はゆっくりと電車で揺られながら行きました。今の季節は気候もよく、散策するにはよかったです。春には、津山城は桜に包まれます。とても綺麗なのでお花見をしに行ってみてはいかがでしょうか。

◎取材、撮影  
NS2 島田 京香  
谷 京子  
白井 裕理  
片山 恵梨子  
山端 健太  
NS1 井上 千裕  
森安 花歩

## 新任職員紹介 本学の仲間になった職員の方を紹介します。



■ 関藤 嘉菜絵 庶務課 事務員

初めてのことが多いため、不慣れでご迷惑をお掛けしてしまうことがあるかもしれませんが、どんなことにも精一杯取り組んでいきますので、よろしくお願いいたします。



■ 小河原 勇 機械室 設備技術員

10月1日付で、医療福祉大学の設備係から異動してまいりました。緑豊かな本学で勤務できることをうれしく思います。学生の皆様が快適な環境の中で勉学に取り組めるように、設備の管理、点検、保守に努めてまいります。



■ 井上 明日香 教務課 事務員

8月末から勤務しております。大学事務の仕事は初めてのため、まだまだ行き届かないところがございますが、学生の皆様のお役に立てるよう努力したいと思います。何かありましたらお気軽にお声を掛けてください。

## 上海師生訪問団

第16期上海師生訪問団として、8月17日から看護科の学生と教員の12人が上海を訪問しました。そこでは、上海健康医学院の方が温かく迎えてくださり、充実した4日間を過ごすことができました。

まず、医学院内の看護科と薬学科の実習室を見学し、実習用具や学習機器が多数設置されている充実した学習環境に感動しました。上海屈指の大病院である第一人民医院の見学では、患者数が急増し、これに伴い医療者の業務負担が増加しているという現状を知りました。また、東方明珠テレビ塔や豫園などの観光名所を巡り、中国の文化や歴史を学びました。

今後も海外の医療や看護教育に関心を向け、国際的な視野から看護を学習したいと思います。

(看護科2年 寺井 里枝)



## かわさき 夏の子ども体験教室 2015

8月18日(火)と19日(水)に、現代医学教育博物館などを会場として、「かわさき夏の子ども体験教室2015 ライフサイエンスのふしぎ」が行われました。医療介護福祉科は五つのコースのうち「人にやさしさをつたえてみよう」を担当し、両日合わせて45人の方にご参加いただきました。内容は、2人1組になって行う「車いす体験」と「高齢者疑似体験」です。また、ペットボトルの蓋を活用した「エコ・マグネット」を一緒に作成しました。これらの体験を通して、他者を想うところややさしい気持ちを持ってもらい、介護福祉士という仕事に対する関心を高めてもらえたら幸いです。子どもたちの一生懸命な姿に感動した2日間でした。(医療介護福祉科 辻 真美)



地球温暖化対策  
ワーキング  
グループだより

川崎エコ  
プロジェクト

もったいない

10年以上前、TVのCM(『まんが日本昔ばなし』風)に、「食べ物を粗末にするともったいないお化けがでるぞ〜」というのがありました。「もったいないお化け」とは、食べ物を残すなどもったいないことをした者の枕元に夜現れ、「もったいない」などと説教をするお化けのことです。

「もったいない」。この言葉は、ごみ削減、再使用、再利用などという環境問題の取り組みを一言で表すことができる素晴らしい日本語だと思います。日本では昔から物を大切にするという文化があり、「もったいない」という言葉で、親から子へ、子から孫へと言い伝えられてきました。

一方、最近では断捨離がブームとなり、「もったいない」「まだ使える」という観念が薄れつつあるように思います。環境問題を考えるとき、今一度「もったいない」という精神を思い起こしてはいかががでしょうか。

(庶務課用務員 守屋 清孝)

## 主要行事 (1月~3月)

1月	4日	仕事始め
	20日	川崎学園防災の日
	23日	医療介護福祉科公開授業
	〃	医療保育科3年オペレッタ発表会
	27日	看護科1年基礎看護実習1開始 (~2/6)
2月	〃	医療介護福祉科2年実習事例報告会・公開講座
	3日	医療保育科2年保育実習成果発表会
	5日	一般入試前期合格発表
3月	24日	在学生健康診断 (~25)
	15日	卒業証書・学位記授与式
	17日	一般入試後期(学生は校内立入禁止)
	19日	一般入試後期合格発表

## 放射線取扱主任者試験 合格者

### 【第1種】

(放射線技術科3年1名、2年2名)

宮嶋 佑旗  
石部 直之 橋本 二春

### 【第2種】

(放射線技術科3年1名、2年18名、1年1名)

亀井 優花  
猪又 由衣 岩戸 敬佑 大江 裕菜 我如古 有梨  
條野 功介 田口 麻美 武富 祐衣 土居 孝  
中沢 慈詠 日比野 香 平松 康平 松賀 美佳  
松田 泰彰 丸中 絢太 道下 順紀 宮城 朱音  
柳根 英明 山谷 晃平  
宇山 友二

### 【放射線取扱主任者とは】

放射線業務従事者や一般公衆等に対して放射線障害が起らないように、放射性同位元素等の取り扱いについて監督を行います。一定数量以上の放射性同位元素等を使用・保管する施設では、この免状を取得した「放射線取扱主任者」を配置する必要があります。

## 平成28年度AO入試(前期・後期)結果

### AO入試前期

試験日：8月30日(日) 合格発表：9月4日(金)

	看護科	医療介護福祉科	医療保育科	計
募集人員	20	15	25	60
出願者数	63	7	46	116
出願倍率	3.2	0.5	1.8	1.9
合格者数	27	7	41	75

### AO入試後期

試験日：10月25日(日) 合格発表：10月30日(金)

	看護科	臨床検査科	放射線技術科	医療介護福祉科	医療保育科	計
募集人員	10	5	5	15	5	40
志願者数	35	23	31	4	7	100
志願倍率	3.5	4.6	6.2	0.3	1.4	2.5
合格者数	13	8	5	4	7	37

## 平成28年度一般入試(前期・後期)日程

試験区分	願書受付期間	試験日
一般前期	平成28年1月5日(火)~1月23日(土)【消印有効】	平成28年1月31日(日)
一般後期	平成28年2月23日(火)~3月9日(水)【消印有効】	平成28年3月17日(木)

## 国家試験日程

区 分	試 験 日	合 格 発 表
第105回 看護師国家試験	平成28年2月14日(日)	平成28年3月25日(金)
第62回 臨床検査技師国家試験	平成28年2月24日(水)	平成28年3月29日(火)
第68回 診療放射線技師国家試験	平成28年2月25日(木)	平成28年3月29日(火)

## 川崎医療短期大学広報誌「若きいのち」(91号)

2015年12月発行

編集発行：広報誌編集委員会

河邊 聡子 (医療介護福祉科・委員長)  
見尾 久美恵 (一般教養・副委員長)  
重田 崇之 (一般教養)  
沖田 聖枝 (看護科)  
迎 由利子 (臨床検査科)  
天野 貴司 (放射線技術科)  
重松 孝治 (医療保育科)  
桑田 俊明 (庶務課)  
松井 美奈 (庶務課・書記)

写真協力：二葉写真館

印刷：友野印刷株式会社

皆さんからのご意見・ご要望をお待ちしております。

〒701-0194 倉敷市松島316

川崎医療短期大学 広報誌編集委員会

電話：086-464-1032 (庶務課)

Eメール：kouhou@jc.kawasaki-m.ac.jp

ホームページ <http://www.kawasaki-m.ac.jp/jc/>

## 編集後記

今年も師走を迎えました。12月と聞くだけで、「あれもしなければ、これもしなければ」と気持ちだけが先走り、落ち着かなくなるのは私だけではないでしょう。日頃忙しくて手抜き分の分、年末の大掃除はしっかりしようとか、今年中に済ませないといけない諸々をどこから片付けようかとか思っているうちに、忘年会やクリスマスがあり、あっという間に年が明けていきそうです。

今回の特集では、各学科の学外実習の様子を紹介しています。実習スケジュールや内容は学科により様々で、改めて他学科の実習内容を知ることができました。また、本号には、放射線技術科の授章式の様子を掲載しています。これから始まる臨床実習に向けて、期待と不安に満ちた表情を写真からうかがうことができます。実習を通して様々なことを学び、終了時には、一回りも二回りも成長したたくましい姿を見せてくれることでしょう。

最後になりましたが、ご多忙にもかかわらず、記事を執筆してくださった皆様に深くお礼申し上げます。

(臨床検査科 迎 由利子)